

# 赤潮情報第68号

(八代海：カレニア ミキモトイ、シャットネラ属、コクロディニウム警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部  
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

## シャットネラ属が八代海で最大36細胞。減少傾向ですが、引き続き警戒が必要です。

本日、熊本県、天草市、熊本県海水養殖組合、漁業者グループが八代海を調査したところ、シャットネラ属が**最大36細胞確認**されました。シャットネラ属の細胞数は減少傾向ですが、楠浦地先周辺では警報基準値(10細胞)以上の細胞数が確認されています。ほかの地域でも今後の海況によっては再び増殖するおそれがあるため、引き続き警戒が必要です。

なお、カレニア ミキモトイは海水1mL 当たり最大5細胞、コクロディニウムは最大8細胞確認されました。シャットネラ属は有害で、魚類や貝類などをへい死させる恐れがありますので、周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、**餌止め等の対策**を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意してください。

※数字は左から順にカレニア ミキモトイの水深0m, 2m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりの細胞数です。  
( )の数字はシャットネラ属。[ ]の数字はコクロディニウム。【採水時刻】。

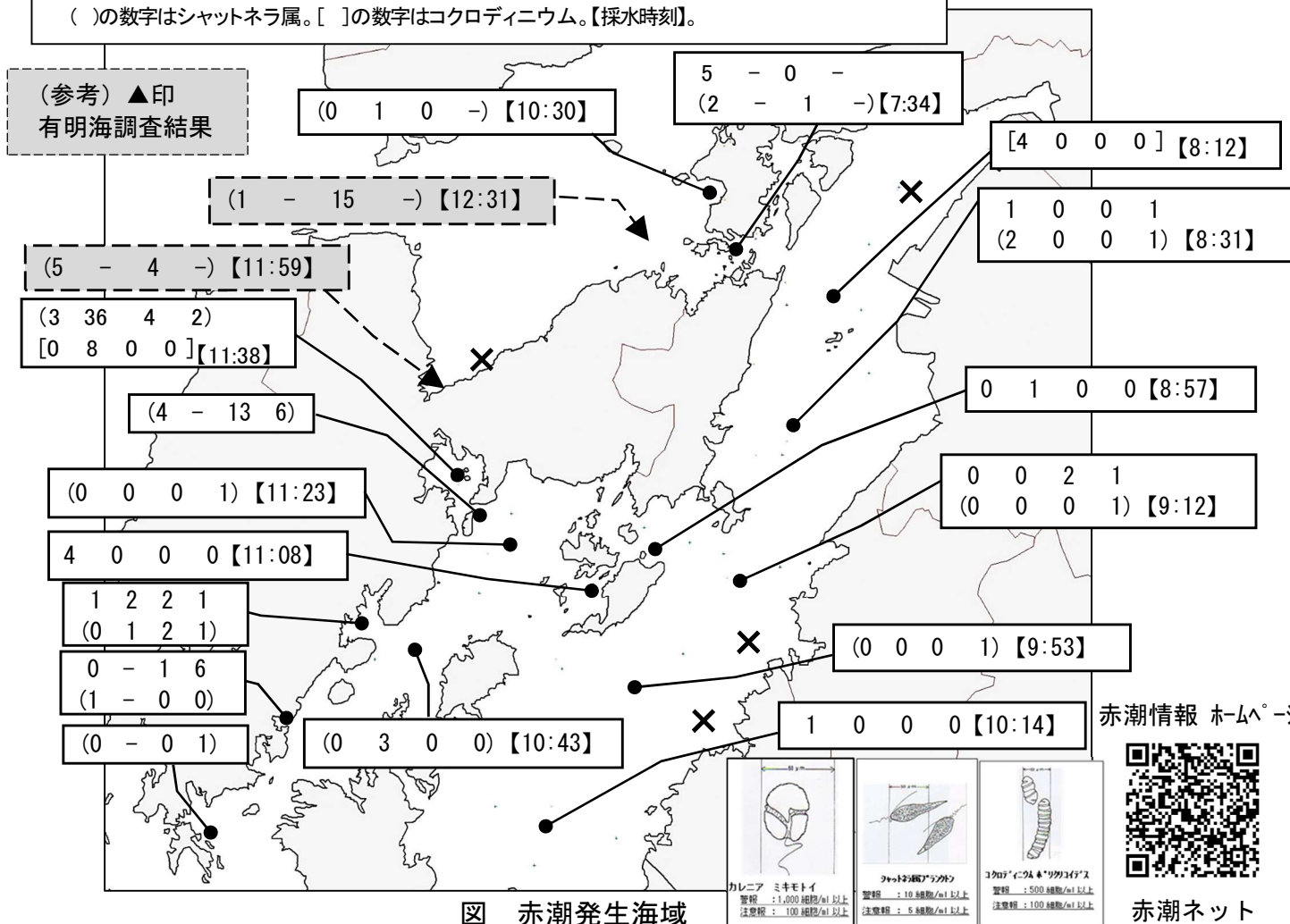


図 赤潮発生海域

※×印：全ての採水層でカレニア ミキモトイ、シャットネラ属、コクロディニウムが0細胞

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください  
(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット [https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku\\_id=1&sid=1](https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1)